



梅雨時の一コマ

プール開き

6月10日（月）は、待ちに待ったプール開きでした。

そこまでに教員たちが何回かに分けて清掃し、さらに6年生のみなさんが仕上げをしてくれました。



（プールの底面、壁面をゴシゴシ）



（プールまでの階段・通路をゴシゴシ）

水泳学習の準備物を嬉しそうに提げてくる子供たち。青空を見上げて、「こんなにいい天気なのに、今日はプールがない…」とつぶやく子供たち。様々な思いが交錯するようです。

1年生も、先生からの注意を聞きつつ、水になじんでいきます。命を守る学習であると同時に、気をつけなければ、別の意味で命に関わる学習です。はやる心は分かりますが、どうしても手順を踏みつつ、慎重な学習の進め方になります。

上の学年の子供たちは、慣れたものです。水の感触を楽しみながら、泳法を思い出し、授業が進むごとに距離を伸ばしている者もいます。本校のプールは、西校舎の屋上であり、他校とは違った景色を楽しみながら、水泳学習を進めることもできます。限られた期間の学習ですが、力をつけ、思い出を刻んでほしいものです。



（1年生）



（6年生）

教員たちの取組をいくつか。

いくら水が冷たくて気持ちがよくても、熱中症の危険があるなかで授業は行えません。熱中症指数計を用いて、WBGT（暑さ指数：熱中症を予防することを目的として提案された指標）の要素である湿度、日射・輻射（輻射熱とは、日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人体などから出ている熱）、気温の3つを測定したり、こまめに水温を確認したりしています。

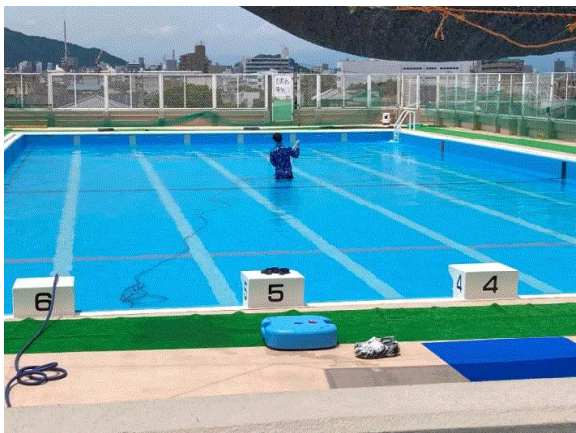
またプールサイドには遮光ネットを張っています。その下で見学をする児童もおりますし、状況に応じて職員室で自習をする児童もおります。



（熱中症指数計）



（遮光ネット）



（砂等の除去）



（通路のシート）

また、隙間時間を見つけての掃除、転倒防止のシート設置と、事故なく、気持ちよく水泳学習できるように取り組んでいます。

「ああ、気持ちよかった」「楽しかった」「〇〇ができるようになった」そんな言葉が聞こえることが教職員たちの励みになります。

これから、水泳教室や、（高学年児童には）水泳検定会などの場もあります。積極的に参加して、力をつけたり、自信を深めたりしてほしいと思います。

（文責 米田直紀）